



会山行Dパーティー

会越国境 室谷川十字峡沢

自分にとっては、初めての室谷川。さらに会山行のリーダーも初めてだし、スラブ登りも初めて、と初めて尽くしの山行。2,3日前には結構雨が降ったようで、増水の心配も加わり少し緊張気味で出発。

8月31日(土):晴れ

行程が比較的長い我々のパーティーは、他のパーティが朝の集合場所でのんびりしているなか、さっそく車に乗り込み出発。

大久蔵沢の出合から入渓、やはり少し水は多いようだ。入渓から駒倉沢の出合までは、多少深いところやへつりが必要などころもあるが、基本的に河原歩き。

駒形沢の出合を過ぎるとゴルジュとなり、深い流れの際のへつりを強いられる。へつりで突破できるのは半分まで、残り半分は泳ぎで行くしかない。田邊さんに言われて、お助け紐をつけて深く考えずに取りあえずトライしてみたが、ザックは不安定にずり上がって、ロープは足に絡まり、そしてルートを選択も失敗で大苦戦。泳ぎながら(というか、もがきながら)「考えてみればこんなに長い距離を泳いだことは無かったなあ」ともって考えてからトライするべきだったと後悔、あえなくギブアップ、ロープを引いてもらい戻ってきた。田邊さんにバトンタッチ、力強い泳ぎでずんずん進み、簡単に突破してしまった。

ゴルジュを抜けて5m滝を左から巻くと、また穏やかな雰囲気となり、時折ナメが出てきたり、側壁がスラブっぽくなってくる。進むにつれてナメっぽいところが増えてきた、ここのナメは岩が水色っぽいせいかわ青くて幻想的な雰囲気だ。

13時ごろ、泊まるのに良さそうな河原と段丘があらわれた。時間は早い、過去の記録を見ると、十字峡沢には泊まるとしても狭い所しかないとの事、出合の前後も完全にゴルジュとなっているようなので、快適な夜を楽しむために今日はここに泊まる事とした。

9月1日(日):晴れ(高曇り)

さて、今日は行程が長い。下山の藪尾根の時間もいまいち読めないという事もある、5時に出発して、少し早足での遡行だ。ゴルジュが近づき、青いナメは昨日より発達している。十字峡沢の

【日程】

2019年8月31日(土)
~9月1日(日)

【メンバー】

羽田野、田邊、棚橋、
栗原

【グレード】

3級

【地形図】

駒形山

【記】羽田野



駒倉沢出合を過ぎてゴルジュの泳ぎ

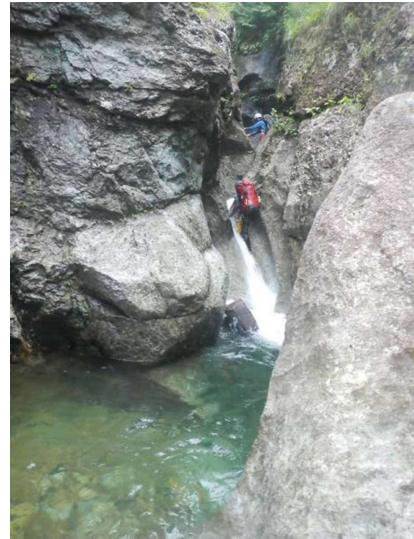


出合は、手が届くほど狭いゴルジュとなっている。ゴルジュに入ると息もつかせず小滝が連続する、途中4m トイ状の滝ではちょい泳ぎで取り付くところがあり、ここでも自分は何度かトライして必死の思いでようやく突破。今後大きい溪に行くためには、自分は泳ぎを強化しなければいけないと自覚した。

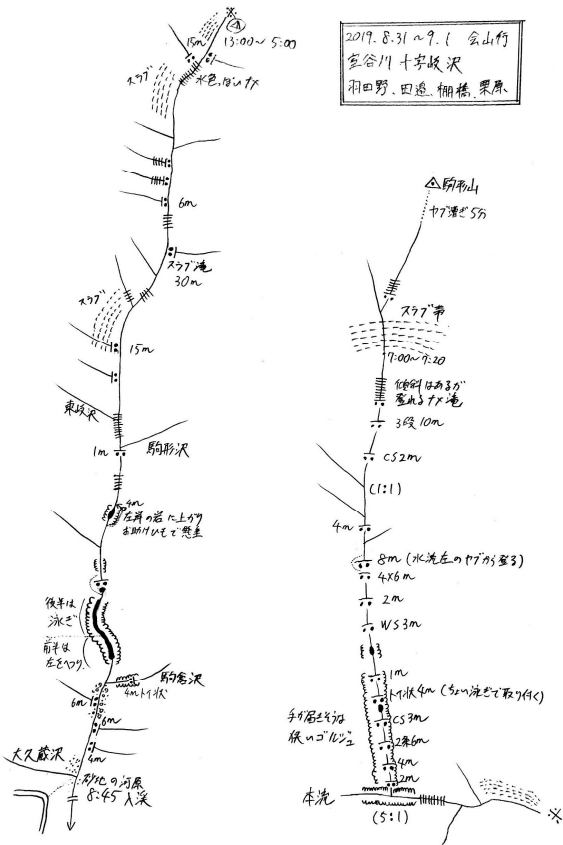
ゴルジュを抜けると、たしかにテント1張りぐらいのスペースはあるが、やはり狭い。昨日の幕場の選択はやはり良かったと実感。

源流の雰囲気となり、さらに登っていくとナメ滝が連続するエリアとなる。いずれのナメ滝も少し傾斜はあるが、フリクションをきかしてギリギリ登れる傾斜でそこを抜けると、お待ちかねのスラブ帯になった。開放的な景色に魅かれると同時に、スラブ初見の自分が思ったのは、落ちたら止まらなそうだけど登れるかな…という不安。自分だけフェルトソールというのも不安要素だった。しかしぎざ登りだと、広々としたスラブを歩くのは楽しく、快適に登れた。そして下から見ると一面スラブだったが、実際には山頂直下まで沢型があり、水線沿いに登っていくことが出来た。最後は藪を5分ほど漕ぐと狙い通りぴたり山頂に到着。

下山は飯田さん推奨の駒倉沢へ降りる尾根ルートだが、この下山が思ったより大変。藪の濃さは想定範囲内だったが、傾斜が急なところや尾根が切れ落ちているところもあり山頂から5時間ほどたつてようやく駒倉沢に降り立つことが出来



十字峡沢のゴルジュ



スラブ

た。室谷川本流まで戻ってきて、昨日と水量が全然違うことに驚いた、昨日は首までの深さだったところが腰までになっていた。

【行程】

8/31 大久蔵沢出合 (8:30) ~ 駒倉沢出合 (11:15) ~ 幕場 (12:45)

9/1 幕場 (5:00) ~ 十字峡沢出合 (5:20) ~ スラブ帯 (7:00~7:20) ~ 山頂 (8:40~8:50) ~ 駒倉沢 (13:45) ~ 入溪地点 (14:30)